



橙組・緑組・青組だより

令和7年9月30日

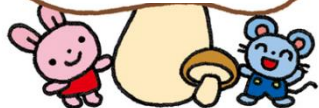
国立保育園

3.4.5歳児クラス

10月号

暑さも少しずつやわらぎ、園庭遊びを楽しめる季節がやってきました。「はやくそとであそびたいな!」と園庭遊びを楽しみにしている子どもたちです。のびのびと身体を動かしたり、自然の移り変わりを感じながら戸外遊びを楽しんでいきたいです。また、寒暖差も大きくなっていく時期なため、体調の変化にも気を付けながら過ごしていきたいと思います。

10月の ねらい



○だいたい組

- ・身の回りのことを自分でしようとする。
- ・自分の思いを伝えながら、友だちとの関わりを楽しみながら遊ぶ。
- ・保育士や友だちと一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。

○みどり組

- ・季節の変化に応じて快適な環境を整え、心地よく過ごせるようにする。
- ・遠足や戸外遊びを通して、自然に興味を持ち、触れて遊ぶことを楽しむ。
- ・自分のものを大切に、始末や片付けをしようとする。

○あお組

- ・気温の変化や活動に応じて衣服の調節をし、快適に過ごしていく。
- ・相手の気持ちを考えながら関わり、相手の話を最後まで聞こうとする。
- ・散歩や遠足を通して自然に触れ、季節の変化に関心を持つ。

☆運動会にご参加いただき ありがとうございました☆

運動会では、あたたかい応援とたくさんの拍手をありがとうございました。保護者の皆様に見守られ、活き活きと身体を動かし、笑顔溢れる運動会となったことを嬉しく思います。親子競技へのご参加もありがとうございました。



おねがい

- 10月中もシャワーを浴びたり、体を拭くことがあるため、タオルのご用意とキッズレポの入力を引き続きお願いします。
- ご家庭のオモチャなどが、かばんに入っていることがあります。トラブルや破損につながる恐れもありますので、お子様と一緒にお荷物の確認をお願いします。また、かばんにキーホルダーなど付けるのもご遠慮ください。



10月21日(火)4.5歳児クラスは、昭和記念公園へ遠足に行きます。
詳細につきましては、配布物にてお知らせします。

3歳児クラスは、園内で遠足ごっこをします♪

3歳児クラス だいたい組『たのしかった！』

ふれあい運動会では、「うんどうかいってなに？」から始まり、子どもたちから「おとうさんやおかあさんといっしょにしたい！」というリクエストがあり、初めての運動会なので「楽しい！」と思ってもらえることを考えながら、子どもたちの様子を見ながら過ごしていきました。運動会で使用するものもみんなで色付けをしたりもしました。運動会当日も小学校の体育館で少し圧倒された様子も見られていましたが、思っていたより笑顔も多く、保護者の方と一緒にできることを嬉しそうにしている子どもたちの表情がとても印象的でした。保護者の方から離れて、玉入れをしたり、最後の幼児クラスのパラバルーンにも参加することができ、とっても驚きました。運動会ごっこでも憧れの青組さんのフラッグを持ったり、緑組さんのパラバルーンをしてみたり…

ととても嬉しそうな表情をしていました。子どもたちからの「昆虫太極拳がたのしかった！」「おとうさんと〇〇したからたのしかった！」などたくさんの「たのしかった！」の声を聞くことができとても嬉しく思います。今後も子どもたちが見通しを持ちながら、「してみたい」ということを形にしながら過ごしていきたいと思います。



4歳児クラス みどり組『やってみよう！』

ふれあい運動会では「こんなことをしてみよう！」と子どもたちとたくさんの「やってみよう」を話していました。「ぜったいバルーンをやりたい！」と、橙組の時からずっと憧れていたバルーンができる！という喜びいっぱいのキラキラの表情でバルーンに触れている子どもたちでした。バルーンの取り組みでは、みんなで力を合わせることの楽しさや、大好きなお友だちと一緒に体を動かす楽しさを味わうことができました。保護者の方に見てもらうことが子どもたちにとって大きな力になっており、カッコいい姿を見せようと頑張る姿がとても頼もしく見えました。玉入れや、風船運びでものびのびと笑顔いっぱいで身体を動かす事を楽しむことができました。運動会の取り組みを通し友だち同士の絆もさらに深まりました。やりたいことを精一杯やり遂げ、子どもたちの自信に繋がったようです。今後も自信を持って活動していけるよう子どもたちの「やってみよう」と

する姿を大切に

見守っていききたいです。



5歳児クラス あお組『心をついに』

ふれあい運動会に向けて、子どもたちと一緒に「どんな種目をしたい?」「ルールはどうしたらいいかな?」とたくさん話し合いを重ねてきました。その中で、子どもたちからたくさん聞こえてきたのが「お父さんお母さんにかっこいいところを見せたい!」という声でした。はじめは「楽しい!」という気持ちが大きかった子どもたちですが、日々の取り組みの中で、だんだんと真剣な表情に変わっていききました。特に組体操では、「ロケット」という技の名前を子どもたち自身が考えていたり、一本橋を成功させるために「どうしたらいいか?」と話し合った際には、「みんなの心が一つになること!」という素敵な意見も飛び出しました。少しずつ気持ちがひとつになり、本番の日。子どもたちは笑顔と真剣な表情を見せながら、堂々とやり切った姿がみられ、組体操では、本当に心が一つになったのを感じました。そんな子どもたちの姿に、私もたくさんの力もらい、改めて子どもたちの持つパワーのすごさに驚かされました。これからも、子どもたちの可能性を信じながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

